

## 【住所】

江戸時代：奥州宮城桃生郡邑

現住所：宮城県石巻市雄勝町 旧住所：宮城県桃生郡雄勝町

## 【歴史】

伝承：硯業の始りは室町時代

文献：①『硯匠奥田家家系図』（江戸時代元和年間 1615～1624）「伊達政宗に献上」の記載あり。

②『封内風土記』田辺希文著 明和8年（1772）刊行 7代藩主伊達重村勅命で作られた地誌。13巻の郡邑桃生、雄勝濱の項に「…北地に硯石を産する。頗る雅物なり。…」とある。

## 【愛用硯】

硯：「伊達政宗愛用硯」伊達政宗（1567～1636）初代仙台藩主。

石名：御留石

## 【硯材の石質】

地質：北上山系登米層古生代上部二畳期（2～3億年前）

地質調査機関：（株）長谷地質調査事務所

石質：黒色硬質粘土板岩

石質分析機関：エヌ・エス環境科学（株）環境科学センター仙台

参考文献：「雄勝硯原材料確保対策地質調査報告書」

採掘所：①明神山 ②硯浜 ③唐桑御留山 ④唐桑 ⑤水浜山 ⑥波板山

現採掘所：明神山・水浜・（波板は2004年休止）

採掘方式：露天掘り

生産高：2億3千万円（2000年）

硯生産販売従事者推移：

2000年 18団体（雄勝硯生産販売協同組合）

2011年 3.11前は13団体、

2012年は9団体。

埋蔵量：無尽蔵

調査機関：（株）長谷地質調査事務所

刻名：玄昌石・雄勝石・御留石・伊勢畑石

## 【その他】

1985年通商産業大臣指定伝統工芸品認定

雄勝硯伝統産業会館 1990年開館

震災前は雄勝の石に限らず全国の硯や中国硯まで展示した硯博物館。硯匠による硯の実演も間近で見ることができました。震災後は休館。建物は撤去が決定。

雄勝硯生産販売協同組合

雄勝石ギャラリー（震災後は休館）

交通アクセス：震災前はJR仙台駅から仙石線を石巻駅で石巻線に乗換え終点女川駅下車北上して車で20分ですが、震災後の仙石線は高城町駅～陸前小野駅間、石巻線は渡波～女川間は不通でバス代行輸送中。車では仙台市内から車で90分。